

アイヌ生活文化再現マニュアル

# 捧酒箸

【イクパスイ】

公益財団法人アイヌ民族文化財団



## 発刊にあたって

公益財団法人アイヌ民族文化財団は、1997年（平成9年）より、アイヌ文化等に関する研究の推進やアイヌ語を含むアイヌ文化の振興やアイヌの伝統・文化に関する知識の普及・啓発を進めるため様々な事業を展開しております。

そうした事業の一環である「アイヌ生活文化再現マニュアル作成事業」は、アイヌの伝統文化を、映像や音声、文字などによって記録し、アイヌの人々をはじめとして、広く一般の人々や研究者の利用に供することにより、アイヌ文化の伝承・保存を図ることを目的としています。

本マニュアルがより多くの人々の利用に供され、アイヌ文化の振興が推進されるとともに、我が国の多様な文化の一層の発展が図られれば幸いです。

## 目 次

発刊にあたって

はじめに ..... 7

〈八重清敏 鶴居村〉

材 料 ..... 10

整 形 ..... 12

デ ザ イ ン 下 書 き ..... 14

彫 る ..... 15

ウロコ彫り～完成 ..... 18

カムイノミ ..... 23

パルンペについて ..... 24

〈貝澤貢男 平取町二風谷〉

材 料	25
整 形	26
デ ザ イ ン 下 書 き	28
彫 る	30
ウロコ彫り～完成	31
おわりに	35
参考文献	36
アイヌ工芸品を展示している施設	37

— 凡 例 —

- ・ 映像編で入れることのできなかつた解説等も記しました。したがって、映像編と文言等で一部異なる個所があります。
- ・ アイヌ語はすべてカタカナで表記し、現在各地域で伝承されている言葉で記載しております。



## はじめに

イクパスイ（トウキパスイという呼び方もある）はカムイへの祈りや、先祖への祈りなどの儀礼の際に、お酒を捧げるために使用される祭具です。カムイや先祖のもとに酒を届け、人間による祈り詞に不足がないように補ってくれる力があります。樺太ではイクニシと呼ばれます。



上ノ国町教育委員会所蔵 宮の沢川右岸地点出土のイクパスイ

文献に初めて登場するのは、1565年の宣教師ルイス・フロイスの書簡です。

現存する最古のものとしては、北海道南部の上ノ国町で、16世紀から17世紀ころの地層からイクパスイと思われる木製品が出土しています。

イクパスイの素材や形には様々なものがありますが、長さは一般的に30cmほどです。

フォスコ・マライニの研究では平均的に長さ32cm、幅1~4cm、厚さはほとんど約8mmであるが地方によって著しく異なることがある、と記されています。(参考:アイヌのイクパスイ フォスコ・マライニ)

※フォスコ・マライニ(1912~2004)イタリアの写真家、登山家、人類学者、東洋学者。アイヌのイクパスイについて、研究を行った。



片方の先端を三角形に削り出したものが多くを占めます。表の面には個性豊かな彫刻が施されます。漆が塗られたものや、クマやシャチなどの動物が高彫りされたものもあります。



裏の面は杯の上に乗せて使われるため、平らになっています。

このマニュアルでは、鶴居村の八重清敏さんと平取町二風谷の貝澤貢男さんによるイクパスイ作り（2018年度時点における記録）を紹介します。

## 八重 清敏

阿寒郡鶴居村在住。鶴居アイヌ協会会長。  
アイヌ精神文化に造詣が深く多くの儀礼で祭司を務める。  
アイヌ工芸技術を生かしたアクセサリーや小物類を制作する。



## 貝澤 貢男

沙流郡平取町在住。  
木彫を中心としたアイヌ木工芸に携わり茶托からチセに至るまで、森の草本や樹木を利用した伝統的な工芸品などについて、材料の見立て、採取、加工、組み立てなど、全工程を熟知している。



# 八重 清敏 鶴居村

## 材料

自宅の庭にあるヤマモミジの木を今回のイクパスイの材料にします。



枝を切ります。長さは40cmほどです。



ナタで縦に割り、ある程度まで薄くしていきます。



片側の先端にペンで印をつけます。  
枝の先側をイクパスイの先端にするため、どちら  
が先端かわかるように目印としてつけるのです。



乾燥させたとき両端が割れないように、木工ボ  
ンドを塗ります。



この状態で1週間から10日ほど、乾燥させます。  
曲がっていますが、八重さんは「この曲がりを生かして作ってほしい」と言います。



## 整形

八重さんが使う主な道具です。



ノコギリで最終の形より少し長めに切ります。幅を確認します。



平ノミで表面を削っていきます。表は曲面に、裏は平面になるように削っていきます。



トウキ=杯（さかずき）に置いてみて、座りを確認します。裏面は、乗せたときにカタカタとならないように、均一な平面となるように削っていきます。



八重さんが今回作るイクバシの寸法は、長さ33cm、幅3cm、厚さが6mmです。

八重さんは、削りながら幅の寸法とトウキに乗せたときのおさまり具合を何度も確認していました。

形が出来上がりました。

先端は丸みのある三角形で、表側をなめらかに削ってあります。



## デザイン 下書き

イクパスイの表側に彫刻するデザインを下書きします。  
八重さんはイメージを紙にデッサンします。



デザインは、図録や古いイクパスイを見て発想するそうです。船やシャチなどを彫ったこともあります。今回は川をイメージして、その周りにウロコ彫りを施していきます。



## 彫る

イクパスイに彫刻を施します。  
使う道具は丸刀と切り出し（マキリ）です。

輪郭を刻んでいくのはほとんど切り出しを使います。



切り出しの先端でアウトラインをなぞります。



平ノミを使い、削りカスを取り除きます。



平刀を使い、ウロコを入れる部分を少し彫り下げます。



切り出して細部を整えます。



輪郭やウロコを入れる部分が出来上がりました。



中央の曲線部、川の流をイメージした部分を丸刀で彫っていきます。



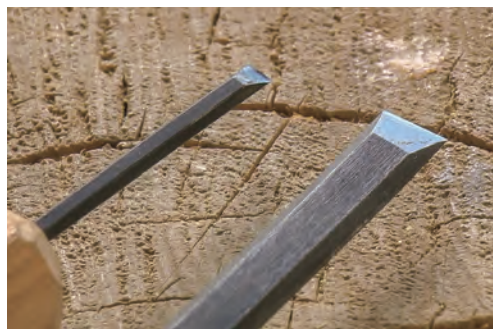
表面のデザイン彫りが完成しました。



## ウロコ彫り～完成

彫り下げた部分にウロコを入れます。

八重さんは切り出して切り込みを入れ、平刀で削り取っていきます。



切り出して斜めに切り込みを入れていきます。

最初に刻んだ線とすべて平行になるように、次々と切り込みを入れていきます。



八重さんは「最初に入れた向きと揃えていくのが大変」と話します。

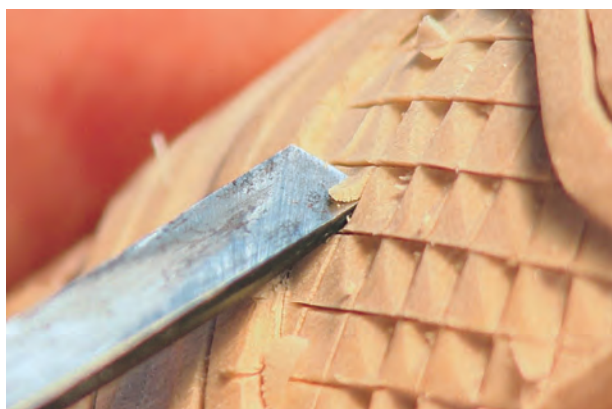
今度は対角線に入れていきます。ひし形が同じ形になるようにします。

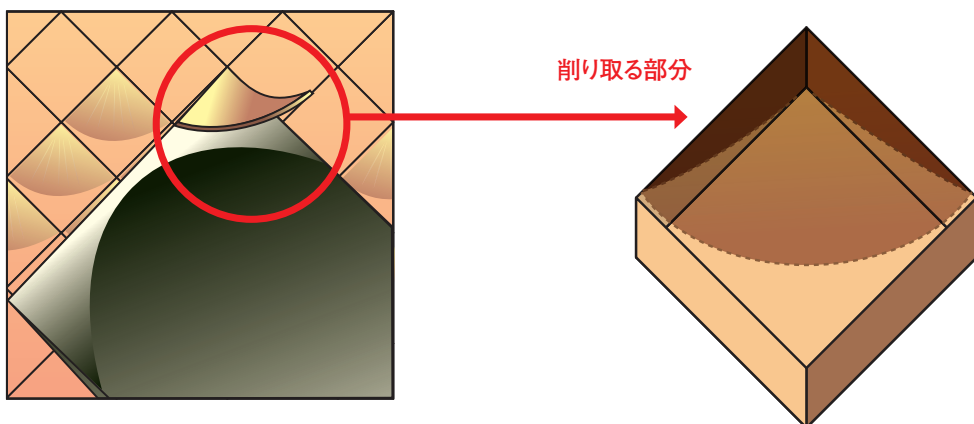


切り込みを入れた後、平刀の角を使い、ひし形部分の半分を削り取っていきます。



四角い部分の半分に刃の角をあて、押し  
て彫り起すようなイメージで、一つ一つ丁寧  
に、慎重に刻んでいきます。





こうして必要な部分すべてにウロコ彫りを施します。



最後にトッパ＝刻印とシロシ＝所有印を入れます。八重さんは、イクパスイの表面、先端と末端にトッパを入れます。このトッパは八重さんの家紋です。

鉛筆で下書きをします。



切り出して彫ります。



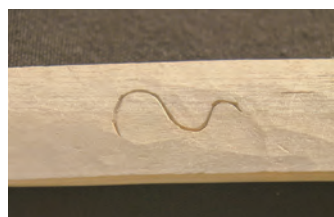
下書きの跡は消しゴムで消します。



裏にシロンを入れます。八重さんが刻んだのは自分のマークです。



八重さんのイクパスイが完成しました。



制作に当たってのポイントを聞いてみました。

「ウロコ方向が一定になるように作っているが、なかなか一定にならない。全部難しいがウロコ彫りが難しい」

「(イクパスイを作るには) 立木から切ること。製材では上下がわからなくなる。木の先、上の方をイクパスイの先端にする。上下が大切」



## カムイノミ

八重さんはイクパスイを作るとカムイノミをします。

八重さんの日々の暮らしにカムイノミは欠かせません。





# 貝澤 貢男 平取町二風谷

## 材料

今回は平取町立二風谷アイヌ文化博物館のチセをお借りして制作していただきました。



材料はヤナギの木。

10日前に立木から伐採し乾燥させたものです



貝澤さんが使う  
主な道具です。



## 整形

ヤナギの木を、少し長めに切ります。



ナタで縦半分に割り、ある程度までナタで削っていきます。割った面が平らな方がイクパスイの裏側になります。



ある程度形を削ったところで一度、長さを調整します。



平ノミで削り、形を整えていきます。



先端の形を作ります。割れないように注意します。



末端の整形の前に長さを調整、33cmにします。



末端部分に丸みをつけます。



形が出来上がりました。



## デザイン 下書き

トッパを彫るため、3本の線を下書きします。  
沙流川地方のイクパスイにはこのトッパが入ら  
れている、といいます。



三角刀で彫ります。



平ノミで切り込みを入れます。



トクノパが入りました。



鉛筆でデザインを下書きします。



下書きの完成です。



## 彫る

輪郭部分を三角刀で彫っていきます。



ウロコを入れる部分は丸ノミで彫り下げます。



出来上がりました。彫り下げた部分にウロコが入ります。



## ウロコ彫り～完成

平刀を使い、斜めに切り込みを入れていきます。

全てが平行になるようにします。



ウロコを入れる部分すべてに斜めの線を刻みます。



次に、対角線に切り込みを入れていきます。  
四角い形が同じ形になるように、慎重に刻んでいきます。

貝澤さんは、  
「ウロコ彫りをするときには、頭を空っぽにする。  
他のことを考えない。テレビもラジオもダメ。」  
と言います。



平刀で輪郭を整えます。



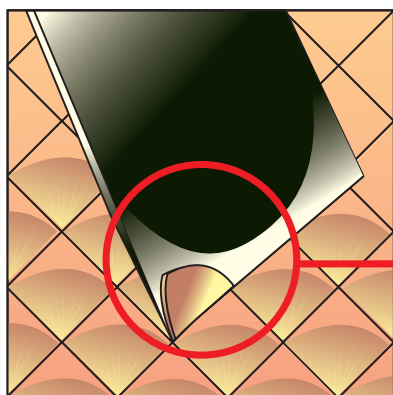
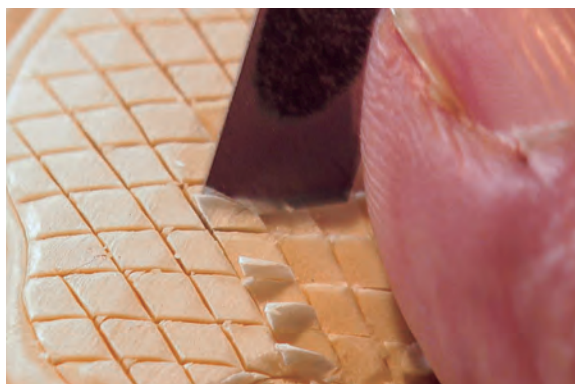
次に、刃の細い平刀を使い四角い部分を削っていきます。



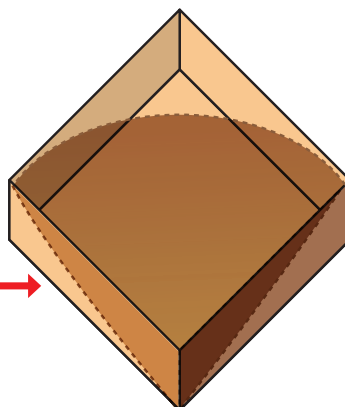
刃先を鋭角に使い、斜め半分を慎重に削り取っていきます。



貝澤さんは、四角い部分の半分に刃の角をあて、手前に引き、丸くすくい取るような感じで彫っているそうです。



削り取る部分



ブラシで削りカスを払います。



裏にパルンペ（パスイサンペ）を入れます。沙流川地方ではパルンペを入れなければいけない、と貝澤さんは言います。

イクパスイの先端裏側に、鉛筆で下書きをします。



平刀で刻み込んでいきます。



さらに細い平刀で輪郭を整えます。



パルンペが入りました。



貝澤さんのイクパスイが完成しました。



制作に当たってのポイントを聞いてみました。

「ウロコ彫るときは頭を空っぽにする。(これは) 大事なことだね」

「神様に使うものを彫るのだという気持ちがあればいいんじゃないかな。心を込めて彫れば、と思うよ」



## おわりに

このマニュアルでは八重さんと貝澤さんの制作を紹介しました。イクパスイは豊かな地域性をもつ祭具です。是非、地元の博物館等を訪ね、展示している資料を参考に自分なりに調べてから制作にあたってみてください。



## 参 考 文 献

イクパスイに関する参考文献等をいくつか紹介します。

- フォスコ・マライニ『アイヌのイクパスイ』  
1994 財団法人アイヌ民族博物館
- 北原次郎太 「月刊シロロ12月号(2015.12) イクパスイ」  
2015 財団法人アイヌ民族博物館
- 内田祐一 「第11章 イクパスイの機能についての一考察」 『アイヌ文化と北海道の中世社会』  
2006 北海道出版企画センター
- 萱野茂 『アイヌの民具』  
1978 すずさわ書店
- 萱野茂 『パスイは生き物』  
1990 社団法人北海道ウタリ協会
- 田端宏、桑原真人監修 『アイヌ民族の歴史と文化 教育指導の手引き』  
2000 山川出版社
- 北原次郎太 「《覚書》 ikupasuyの口舌型再検討」 『千葉大学 ユーラシア言語文化論集 17』  
2015 千葉大学
- 財団法人アイヌ民族博物館監修 『アイヌ文化の基礎知識 増補・改訂版』  
2018 株式会社草風館

## アイヌ工芸品の展示施設

アイヌ工芸品を展示している施設をいくつか紹介します。

### 道内

- |                     |                        |
|---------------------|------------------------|
| ●平取町立二風谷アイヌ文化博物館    | 沙流郡平取町二風谷55            |
| ●函館市北方民族資料館         | 函館市末広町21-7             |
| ●のぼりべつクマ牧場・ユーカラの里   | 登別市登別温泉町224            |
| ●苫小牧市美術博物館          | 苫小牧市末広町3-9-7           |
| ●新ひだか町アイヌ民俗資料館      | 日高郡新ひだか町静内真歌7-1        |
| ●浦河町立郷土博物館          | 浦河郡浦河町字西幌別273-1        |
| ●幕別町蝦夷文化考古館         | 中川郡幕別町字千住114-1         |
| ●帯広百年記念館            | 帯広市緑ヶ丘2緑ヶ丘公園内          |
| ●釧路市立博物館            | 釧路市春湖台1-7              |
| ●弟子屈町屈斜路コタンアイヌ民俗資料館 | 川上郡弟子屈町字屈斜路市街1条通14番地先  |
| ●網走市立郷土資料館          | 網走市桂町1丁目1-3            |
| ●名寄市北国博物館           | 名寄市字緑ヶ丘222             |
| ●旭川市博物館             | 旭川市神楽3条7丁目 大雪クリスタルホール内 |
| ●川村カ子トアイヌ記念館        | 旭川市北門町11丁目             |
| ●北海道博物館             | 札幌市厚別区厚別町小野幌53-2       |
| ●サッポロピリカコタン         | 札幌市南区小金湯27             |
| ●北海道立アイヌ総合研究センター    | 札幌市中央区北2条西7丁目かでの2・7ビル  |

### 道外

- |                  |                  |
|------------------|------------------|
| ●東京国立博物館         | 東京都台東区上野公園13-9   |
| ●国立民族学博物館        | 大阪府吹田市千里万博公園10-1 |
| ●リパティ大阪（大阪人権博物館） | 大阪市浪速区浪速西3丁目6-36 |
| ●天理大学附属天理参考館     | 奈良県天理市布留町1       |
| ●松浦武四郎記念館        | 三重県三雲町大字小野江383   |



アイヌ生活文化再現マニュアル  
捧酒箸  
(イクパスイ)

---

2019年9月 発行

発行 公益財団法人アイヌ民族文化財団

〒060-0001

北海道札幌市中央区北1条西7丁目

プレスト1・7（5階）

TEL(011)271-4171/FAX(011)271-4181

本書の内容の一部または全部を無断で複写複製（コピー）することは、法律で禁止されていますので、あらかじめ公益財団法人アイヌ民族文化財団あてに許諾をお求めください。

